

地域空き家等循環再生事業（二宮町・一色小学校区地域再生協議会）

課題	二宮町は箱根や東京・横浜へのアクセスも良く、自然環境や住環境も豊かで住宅価格や家賃水準もミレニアル世代等の移住に適しているが、こうした利点が東京・横浜等の大都市居住者にまだ十分に知られていない。
目的	お試し移住（ワーケーション・プラン）を実施し、お試し移住から県公社住宅や戸建空き家への移住を促進する。併せて県公社、二宮町、先輩移住者、地元不動産事業者、団地商店街の店舗等による協働体制の構築を推進する。
取組内容	2泊3日のお試し移住を実施。①お試し移住者の募集→②住宅の確保、オススメ・マップの作成、実施体制構築→③ガイダンス、交流会の実施→④アンケート取りまとめ
成果	募集サイト及びオススメ・マップの作成、宿泊施設（公社住宅等）の利用マニュアル

【令和2年度取組内容】

①お試し移住者の募集

- ・10月26日から募集サイトを「開設し、参加者の募集を開始した。
- ・11月20日～12月13日間で2泊3日（金土日）のお試し移住を計4回、各回3組、1組は4人以下（週に2日以上テレワークで働ける40歳未満のカップルやファミリーを対象）を募集した。
- ・12組の募集に対して25組の応募あり。応募者の2/3は東京都から。応募理由は神奈川県西湘地域で移住先を検討、仕事がテレワーク、子供の教育環境、アウトドアに興味があった。

②住宅の確保、オススメ・マップの作成、実施体制構築

- ・公社住宅2戸（2DK）、民間賃貸住宅1戸（1DK）の計3戸を確保。布団セット、自炊セット等を整備した。
- ・募集サイトにリンクする形で参加者の滞在期間中の自由行動を促すための地図（写真付）を作成した。
- ・再生協議会だけでなく、県公社、二宮町、先輩移住者、不動産事業者等による協働体制を構築した。

③ガイダンス、交流会の実施

- ・2泊3日初日のガイダンスでは、二宮町の紹介、提供住宅の利用マニュアルの説明、主催者側と参加者の歓談、地元不動産事業者による町案内兼物件案内のスケジュール調整などを行なった。
- ・1回目と4回目の最終日には先輩移住者を交えた交流会を行い、参加者の好評を得た。

④アンケート取りまとめ

- ・Q1 この企画をどこで知ったか？→A 地元不動産事業者のサイトや知人の紹介で知った人が多かった。
- ・Q2 良かった点→A 町の雰囲気、自然環境の豊かさ、先輩移住者や町民の暮らしに直に触れたこと。
- ・Q3 改善して欲しい点→A 宿泊施設に関する情報の事前提供。ガイダンスと併せた町案内の実施等。
- ・Q4 移住したい気持ちが高まったか？→A 全員「ハイ」と回答。数組が移住する見込み。

【今後の展開】

- ・お試し移住の取組を継続的、自立的な事業に発展させること。
- ・お試し移住の実施に関する協働体制を「移住・循環居住・リノベーションの支援組織」に発展させること。

募集サイト



<https://ninomiya-workation.com>

団地商店街での交流会

